

令和5年度 大島地区教育推進プラン

【本地区の特性】

- 奄美群島日本復帰70周年を迎える。有為な人材を数多く輩出し、「人材の島」「教育の島」と謳われている。
- 多数の小規模校や複式学級を有している。保護者や地域住民は、教育に対する関心が高く、学校に寄せる期待が大きい。
- 世界自然遺産にも登録された豊かな自然が残されており、文化財・天然記念物なども多く、方言や伝統芸能が大切に引き継がれている。
- 「結いの心」が受け継がれ、絆や助け合いを大切にしている。
- 多くの若者が進学・就職のために、中学校卒業後や高等学校卒業後に島立ちをする。

【学校・園数、児童・生徒・教職員数】

学校種	園・校数
幼稚園	16(4)
小学校	83
中学校	46
高等学校	8(1)
特別支援学校	1

()は私立別掲	
児童生徒数	8,943人
教職員数	1,357人

令和5年4月6日現在

奄美のよさを生かした魅力・活力ある教育の推進 ～人権教育を全ての教育の根幹に～

到達可能な個別目標<AIGs>

豊かな心と健やかな体	「確かな学力」の定着	開かれた信頼される学校づくり
<ol style="list-style-type: none"> いじめ問題への適切な対応 1件でも多く認知する。 3か月が経過した事案の解消率 100% 不登校の未然防止 在籍率 小0.50%以下 中2.05%以下 体力・運動能力の向上 目標=下の種目をTスコア50以上に 小学生 中学生 男子 20mシャトルラン 20mシャトルラン 女子 長座体前屈 反復横跳び *小…2, 4～6年 中…1, 2年平均 健康教育の充実 むし菌治療率 小学校 70% 中学校 60% 栄養教諭の活用 各学校1回以上 読書運動の充実 小学校 100冊以上 中学校 40冊以上 	<ol style="list-style-type: none"> 学力向上 (R5鹿児島学習定着度調査) 達成目標 小学校 各教科 通過率75%以上 各教科 県平均以上 中学校 各教科 通過率70%以上 各教科 県平均以上 一人一研究授業の確実な実施 実施率 小・中学校共に 100% 家庭学習の充実 家庭学習60・90運動の充実 小学校 60分以上の家庭学習時間確保 中学校 90分以上の家庭学習時間確保 *学習内容の質的向上 *小学校は5, 6年(4年以下は各学校で設定) 	<ol style="list-style-type: none"> 地域人材を活用した自然・伝統文化的な体験活動の充実 年3回以上の実施率 小・中学校共に 100% 不祥事根絶に向けた服務指導の徹底 全職員で分担する服務研修の実施率 小・中学校共に 100% 学校の業務改善の推進 学校事務の適正化

大島地区学力向上プロジェクト

目標達成のための共通実践事項

<ol style="list-style-type: none"> 心を育てる教育活動の充実 □ 「人権尊重の理念」を上位に位置付けた学校経営の推進 □ よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う「特別の教科 道徳」の充実 □ とともに親しむ読書運動の充実 いじめ・不登校・問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応 □ 児童生徒の自尊感情・自己有用感の育成と望ましい学級集団・人間関係づくりを深めるための授業や活動の実施 □ 年5回以上の実態把握及び心情に寄り添った早期対応 □ 意図的・計画的な教育相談・働きかけ・支援の実施 体力・運動能力の向上 □ 「運動大好き「かごしまっ子」」育成推進事業に基づく体力・運動能力の向上 □ 家庭・地域と連携した体力づくり 健康教育の充実、食育の推進 □ 現代的な健康課題への適切な対応 □ 学校教育全体を通じた食に関する指導の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びによる授業改善 —「大島モデル」の授業づくりの推進— 授業充実の3ポイントを踏まえた、児童生徒が自ら学びとる「質の高い授業」 目標の明確化・山場の工夫・確かめ・見届け ※ 特に「確かめ・見届け」の充実を図る。 ※ 各過程での「書く活動」の充実を図る。 □ 「学びの羅針盤」「大島の教育Pamphlet」 「学力定着のためのリーフレット」の活用 □ 学習者主体の授業づくり □ かごしま学力向上支援Webシステム等を活用した計画的かつ継続的な取組の充実 □ 授業力向上を図る校内研修等の充実 □ 学習指導要領の趣旨を踏まえたカリキュラム・マネジメントの実現 「質の高い授業」の実現を支える「家庭学習60・90運動」の充実 □ 課題の内容・方法の工夫(授業と連動した日々課題、児童生徒に不足している力を養う週末課題等) 「GIGAスクール構想」を踏まえた教育の情報化の推進 □ 教科・領域の内容に応じた情報活用能力(情報モラルも含む)の着実な育成 □ プログラミング教育の充実及び遠隔・オンライン教育等の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 奄美のよさを生かし、地域に開かれた学校づくりの推進 □ 地域学校協働活動の推進と積極的な人材活用 □ 学校評価と学校の教育活動の情報発信の工夫・充実 □ 島唄・島口、美ら島運動の充実 服務規律の厳正確保 □ 職責感を高めるための「全職員で分担する服務研修」の実施 □ 個別服務指導強化期間(4月・5月)の個別指導徹底 □ 不祥事防止強化月間(8月・12月)における「参加型・体験型を取り入れた服務研修」の実施 学校の業務改善の推進 □ 学校における業務改善への積極的な取組 学校事務の適正化 □ 実効性のある自主検査の徹底 □ 学校事務指導の充実 □ 事務職員研修の内容と開催方法の改善・充実
--	---	---

令和2年度改訂『大島の教育Pamphlet 1～6』の活用

学校・家庭・地域が連携して取り組む三つの運動

「家庭学習60・90運動」

「ともに親しむ読書運動」

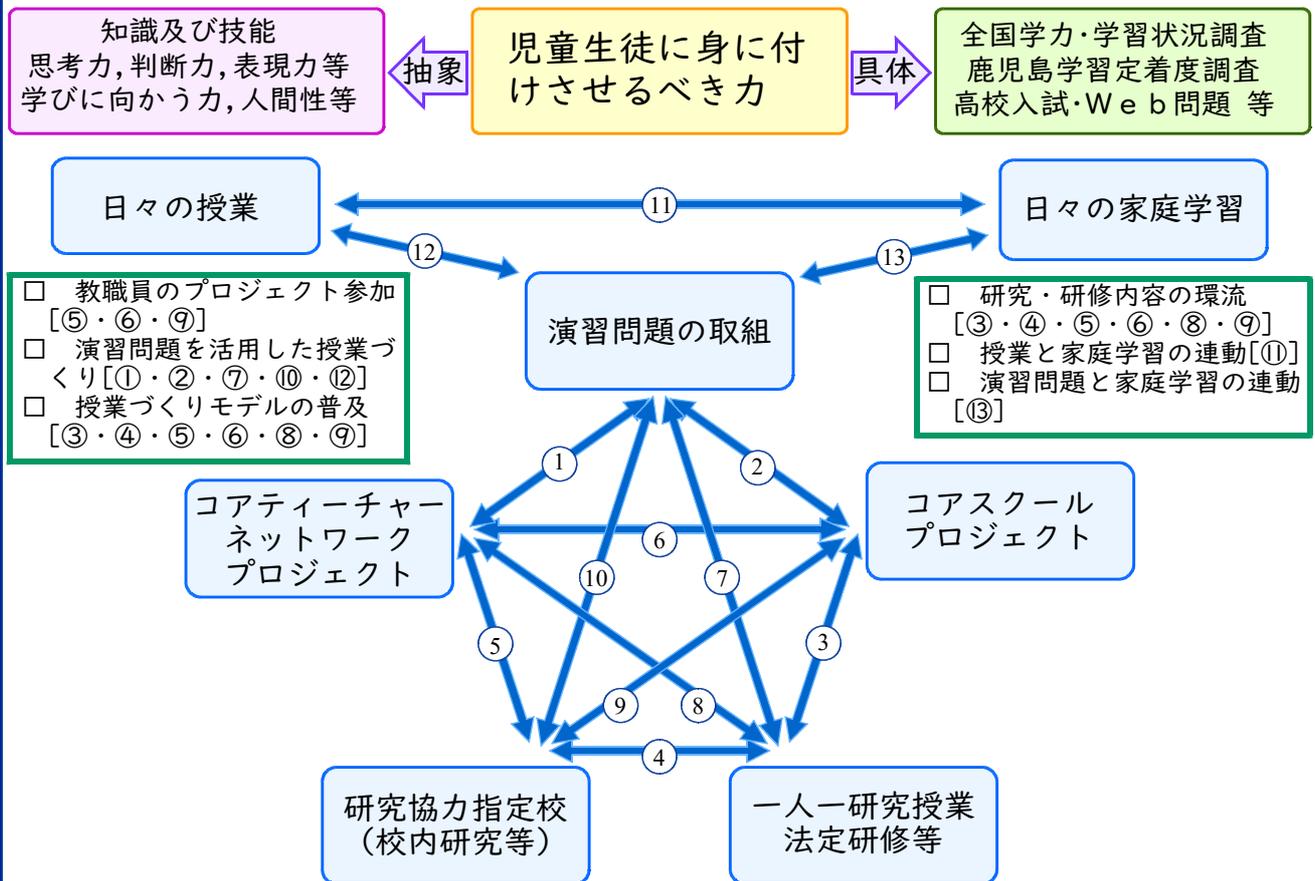
「島唄・島口、美ら島運動」

到達可能な個別目標
Achievable Individual Goals



大島地区学力向上プロジェクト

「授業改善の取組」と「演習問題の取組」は学力向上の両輪



〔「大島モデル」の授業づくりの推進〕
大島モデル…授業充実の3ポイントを踏まえた、児童生徒が自ら学びとる「質の高い授業」
「目標の明確化」, 「山場の工夫」, 「確かめ・見届け」

ポイント1【目標の明確化】
ゴール（児童生徒が身に付ける力）が明確な授業（開始10分以内の導入）

ポイント2【山場の工夫】
思考を深めるための様々な学習活動や指導の工夫がある授業

ポイント3【確かめ・見届け】
分かるようになった・できるようになった実感のある授業（ラスト10分間の充実）